

## 丹羽萌子

2003年 食物科 卒業

雑誌 cancam のクリスマス特集の撮影小道具のケーキを作った。

NHK「グレーテルのかまど」の指輪をモチーフにしたケーキで紹介される。

現在、愛知県立高校で家庭科の非常勤講師として勤務、また、お菓子教室を主催している。

瑞陵高校食物科に入学したきっかけは母の勧めでした。もともとそんなに食物に関して興味があったわけではなかったんですが、将来何になりたいか悩んでいた私は、母の勧めでなんとなく食物科に入ったのをきっかけにお料理の楽しさ、食に関する知識を習得するうちに、人間にとってかかせない食に魅了され、食の魅力を世の中の人に自分らしいかたちで伝えていきたいと強く思うようになりました。

その後、恩師の影響で、家庭科の教員免許を習得するため大学の家政学部に入りました。大学では、食物科の3年間で習った勉強が役にたち、授業内容も理解しやすく、高校のころに学んだことをまさか大学で復習することになるなんて思っていなかったので食物科で学んだことはレベルが高かったことを改めて実感しました。

教員免許を習得し、今は県立の高校で家庭科の非常勤講師として働いています。

大好きだった、お菓子作りを趣味でしているうちにオリジナルのスイーツを作るようになり、それが、いまではスイーツで人を喜ばせることができることを知り、働きながらも、今はスイーツを通して世の中の人に夢や happy を与えられる仕事をしてみたいという夢がうまれ、今お菓子教室を開催したり、知り合いから頼まれたスイーツをオーダーで作ったりしています。

今考えると、食物科で習得したのは食に関する知識だけでなく、「集団給食での自分の役割を全うすること」、「体育祭、文化祭で経験した、みんなで協力しあって一つのものを作り上げる喜び」、「調理実習での自分で作って食べて、それがエネルギーになる喜び」を学んだからこそ今の自分かいると実感しています。

自由・自主・自律のなかでさまざまなことを学べた瑞陵の校風に感謝しています。

